

英文學評論

第 XXX 集

- 『ヘンリー四世』と『ヘンリー五世』を結ぶもの…………… 青 木 啓 治
——ハルの英雄的性格と太陽と雲の主題——
- オセロウ…………… 岡 田 洋 一
——アイデンティティをめぐって——
- 肉体の復活…………… 奥 村 透
——『チャタリー夫人の恋人』——
- エマスの詩『バックス』について…………… 尾 形 敏 彦
- ライトの『アウトサイダー』…………… 田 中 礼
——人種性と普遍性——
- The Language of *Emare*, A Middle English Romance…… Yoshio Nagano
Part I. Phonology

京都大学教養部英語教室

目次

『ヘンリー四世』と『ヘンリー五世』を結ぶもの	青木啓治……(一)
——ハルの英雄的性格と太陽と雲の主題——	
オセロウ	岡田洋一……(三七)
——アイデンティティをめぐって——	
肉体の復活	奥村透……(五)
——『チャタリー夫人の恋人』——	
エマソンの詩『バックカス』について	尾形敏彦……(六)
ライトの『アウトサイダー』	田中礼……(三)
——人種性と普遍性——	
The Language of <i>Emare</i> , A Middle English Romance	Yoshio Nagano……(1-26)

Part I. Phonology

編集後記

昭和四十七年度の『英文学評論』は、年一回発行の予定で準備を進めていたが、慢性的出版事情困難は変わらず、また編集委員の不慣れも手伝って、一回になってしまった。執筆者各位に多大の御迷惑をかけた点、御諒承を請う次第である。

三宅卓雄氏は特別研究員として、イェール大学へ出張中であつたが、昨年三月末帰任された。また、豊田昌倫氏は昨年十月一日付で、大阪大学より赴任された。

本年一月二十日、談話会が開かれ、豊田昌倫氏の「Fowler-Batesonの〈語学・文学〉論争をめぐって」を聞いた。その後、活発な討論が行われた。

(編集委員)

英文学評論 第三十集

非売品

昭和四十八年三月二十五日 印刷
昭和四十八年三月三十一日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 尾形敏彦

印刷所 内外印刷株式会社

京都市下京区西洞院七条南

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXX March 1973

CONTENTS

- The Relationship of *Henry V* to *Henry IV* *Keiji Aoki*
—Hal's Heroic Character and the Sun-Cloud Theme—
- On Othello's Identity *Yôichi Okada*
- The Resurrection of the Body *Tôru Okumura*
—*Lady Chatterley's Lover*—
- On Emerson's Poem, *Bacchus* *Toshihiko Ogata*
- On *The Outsider* *Hiroshi Tanaka*
—Racial Qualities and Universality—
- The Language of *Emare*, A Middle English Romance *Yoshio Nagano*
Part I. Phonology
-

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY